



ボクのお母さん 1950年 ©Shoji Ueda Office

# 植田正治写真展

## 写真とボク

SHOJI UEDA

La Photographie et Moi

2010年11月2日(火)～12月5日(日)月曜日休館

高校生以下  
無料

●開館時間＝火～土曜日・祝日(9:30～19:00)／日曜日(9:30～17:00)／入室はいずれも閉館30分前まで

●入場料：一般 700円(560円) 大学生 500円(400円)

※( )内は前売りおよび団体20名様以上の料金

※65歳以上の方(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料

●主催：高松市美術館

●協力：鳥取県伯耆町立植田正治写真美術館／植田正治事務所／香川Komachi／高松丸亀町商店街振興組合／sottoprodotto

●後援：朝日新聞高松総局／NHK高松放送局／OHK岡山放送／産経新聞社高松支局／山陽新聞社／RSK山陽放送  
四国新聞社／KSB瀬戸内海放送／TSCテレビせとうち／RNC西日本放送／毎日新聞高松支局／読売新聞高松総局

●協賛：株式会社ニコン／株式会社ニコンイメージングジャパン／富士フイルム株式会社／文化堂印刷株式会社

●企画制作：クレヴィス

Takamatsu City Museum of Art  
高松市美術館

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4  
TEL:087-823-1711 FAX:087-851-7250



# 植田正治写真展

## 写真とボク

SHOJI UEDA

La Photographie et Moi

砂丘を舞台に数多くの傑作写真を生み出し、日本のみならず世界の写真史上に独自の足跡を残した植田正治(1913~2000)。終生、生まれ故郷の山陰にとどまり、「写真する」歓びを追求したそのモダニズムあふれる作品は、海外でも“Ueda-cho(植田調)”と称され、最も人気の高い日本人写真家の一人となっています。

時間も空間も超越した魅力にあふれた植田作品は、今なおその人気を高めています。とくに、1980年代から取り組んだファッション写真(シリーズ「砂丘モード」)、その後の福山雅治のCDジャケット撮影からはじまったコラボレーションなどは、世代を超えたファン層のすそ野を一気に広げることになりました。

2010年は植田正治の没後10年にあたります。初めての国内巡回展となる本展は、植田正治の代名詞ともいえる砂丘を舞台にした作品はもとより、再評価の契機となったファッション写真まで、初期から晩年に至る代表作約200点により、今なお新鮮な魅力を放ち続ける植田正治の世界に迫ります。没後発見された未発表のネガによる作品も今回初公開されます。



浜の少年 1931年



少女四態 1939年



ジャンプするボク 1949年頃



土門拳と石津良介 1949年



シリーズ「童暦」より 1955-70年



シリーズ「砂丘モード」より 1983年

©Shoji Ueda Office

### 関連イベント

#### ① 記念対談「植田正治先生の思い出」

11月6日(土) 14:00~15:30

講師:菊池武夫氏(ファッションデザイナー)、瀬尾浩司氏(写真家) / 無料 / 先着150名様(当日12時より1階受付にて整理券配布)

#### ② ワークショップ「植田ワールドを体験!」

##### ミニ砂丘撮影会」

11月7日(日) 9:30~15:30

講師:瀬尾浩司氏(写真家)、松崎理氏(アートディレクター) / 500円 / 小学生以上先着30名

#### ③ 「植田正治へのオマージュ・UEDAとボク」プロジェクト

植田正治に捧げるファッション写真をGABOMI氏が香川を舞台に撮影!作品は雑誌「香川Komachi」12月号(11/20発売)に掲載されると同時に、丸亀町商店街の新たな情報発信拠点「sottoprodotto(ソットプロドット)」にて展示(11/6~12/5予定)。

【モデル募集】詳しくは「香川Komachi」11月号(10/20発売)・sottoprodottoホームページで  
衣装協力: NOMADIC PIPE  
ヘアメイク協力: 星川智史 [é toile rivi (VR) ère japon]

#### ④ 子どものアトリエ

A 11月21日(日) 午前「影絵写真に挑戦!」

B 11月21日(日) 午後「オーバーアクション写真に挑戦!」A・B講師:GABOMI氏(写真家)

C 12月5日(日) 午前・午後「カメラを使わない写真に挑戦!」講師:高橋章氏(写真家)

\*詳しくはホームページ・電話で

#### ⑤ 学芸員によるギャラリートーク

11月13日(土)・20日(土) 14:00~/2階展示室 / 観覧券が必要

#### ⑥ 美術館ボランティアcivi(シヴィ)によるギャラリートーク

会期中の毎日曜・祝日 11:00~14:00~/2階展示室 / 観覧券が必要

#### ⑦ エントランス・ミニコンサート

11月3日(水・祝) 13:30~14:00 / エントランスホール / 無料

\*②④は電話(高松市美術館 087-823-1711)にてお申込ください。



### 交通のご案内

JR 四国 - JR高松駅から南へ徒歩15分

ことடன் - 瓦町駅または片原町駅から徒歩10分

バス路線 - (レインボー循環バスほか)

紺屋町バス停から徒歩3分(まちバス)

丸亀町バス停から徒歩2分

駐車場 - 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)